事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4　年　11　月　　25　日
１．初期支援（はじめのかかわり）	ﾒﾝﾊﾞｰ	佐々木・後藤・道下・鵜木・松江・日下部 本間・鎌田（裕）・鎌田（秀）・沢居 佐藤（朋）・榎本・高島・成田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1 人	6 人	7 人	人	14 人

前回の改善計画
事業所で支えられるか記録や相談内容だけではなく、ご本人と面談しアセスメントをした上で判断していきたい。 担当職員が中心となり現状の目標把握とそれに合わせた支援が出来るように職員間で共有していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
利用前には必ず実態調査を行うことで本人像をより明確にし、情報、状態などを職員間で共有する事が出来た。 コロナ禍により事前会議（ケアカンファレンス等…）で情報共有は出来ない場面もあったが 出来る限りの情報は共有するようにしていた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？		11	3		14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？		12	2		14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	1	12	1		14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？		12	2		14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用前にはご本人、ご家族の希望や想いを聞くことができ、その情報を職員間で共有している。 共有方法としては申し送りの他、看護添書、連絡ノート、医療ノート等を活用している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
コロナの影響もあり、会議が十分に開催できなかった（時短、中止等…） CM が中心となっていることも多く、情報共有もサービス前には十分なミーティングは行えなかった。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・事前の情報は口頭だけではなく紙ベースで職員全員が目を通せる状態にする。 ・引き続き本人、ご家族の必要としている支援をアセスメントし支援をしていく。 ・定期のサービス以外でも住宅併設という環境を活かしコミュニケーションを図る。 ・サービス開始後も本人、ご家族が安心した生活が送れているか定期的に確認していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4　年　11　月　　25　日
２.「～したい」の実現（自己実現の尊重）	ﾒﾝﾊﾞｰ	佐々木・後藤・道下・鵜木・松江・日下部 本間・鎌田（裕）・鎌田（秀）・沢居 佐藤（朋）・榎本・高島・成田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1 人	6 人	7 人	人	14 人

前回の改善計画
目標に対した支援が継続できるよう職員間で共有し、進捗状況やその時の様子などもモニタリングを行い職員個人ではなく事業所として取り組んでいきたい。 目標については見える化も検討。
前回の改善計画に対する取組み結果
コロナ禍、人員不足などにより十分な関わりは持てず個々の目標に関する取り組みは希薄になってしまった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？		8	6		14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？		9	5		14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？		3	10	1	14
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？		7	7		14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
モニタリングにて都度の状況の報告・検討をし、目標の確認を行っている。 個別のファイルを CM が作成している為、何時でも閲覧できるようになっている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
目標に対して把握は出来ておらず、前回の改善計画に掲げた見える化が出来ていない。 業務に追われ目標に対する具体的な関わりが持てなかった。 本人が『～したい』という希望が話せない方もおり、積極的に声を掛け目標把握に努めたい。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・担当職員による定期的な報告（ケア会議時）にて職員間で目標を周知する。 ・担当職員が中心となりモニタリングを実施し、現状の関わりが適切かアセスメントを行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4　年　11　月　　25　日
３．日常生活の支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	佐々木・後藤・道下・鵜木・松江・日下部 本間・鎌田（裕）・鎌田（秀）・沢居 佐藤（朋）・榎本・高島・成田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	4 人	9 人	1 人	14 人

前回の改善計画
モニタリングの質の向上。現状行っている事だけではなくもう一歩踏み出した支援を行えるようなモニタリングを実施する。
前回の改善計画に対する取組み結果
ケアカンファレンスの開催も十分に行えず（開催の中止や時短）、当日の申し送りや日々の業務の中でしか支援方法などを検討する機会がなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか？		5	8	1	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	1	13			14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		7	6	1	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	2		11	1	14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	1	9	4		14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
状況に応じての柔軟な支援は情報共有を行い都度の対応は出来ている。職員間で申し送り、引継ぎを行うことで変化にも対応できている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
生活の中での支援が中心となってしまい利用者本人の希望や要望は汲み取れても実施できていないのが実情である。理由としては人員不足、コロナ禍の他目標の把握が出来ておらず漠然とした関わりになっている部分もあるように感じている。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・本人の想いや要望が叶えられるよう実施できる環境を整える（ハード面、ソフト面、マンパワー等…）	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4　年　11　月　　25　日
４．地域での暮らしの支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	佐々木・後藤・道下・鵜木・松江・日下部 本間・鎌田（裕）・鎌田（秀）・沢居 佐藤（朋）・榎本・高島・成田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1 人	11 人	2 人	人	14 人

前回の改善計画
コロナ禍で外部との関わりは制限されているが利用者様とご家族に関しては関係が切れる事がないように支援していく。 面会制限がある時にも ZOOM 面会の推奨や定期的な状況報告を行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
ZOOM 面会だけではなく、面会室を設置し面会できる環境作りを行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	1	9	4		14
②	本人と、家族･介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	1	11	2		14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		9	4	1	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		1	9	4	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ご家族との関係が切れない様にコロナ禍でも面会室を設け面会して頂いていた。また、報告・連絡・相談はＣＭが中心となり都度の対応は行えた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
関係が切れない様努めていたが、利用者本人、家族の希望（外出や外泊等…）を十分に実施できることが出来なった。外出の機会も減ってしまう事で地域資源などの関係は希薄となってしまった。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・今回同様コロナ禍でも面会等関係がきれないよう面会室での面会や ZOOM 面会等環境づくりを継続していく。 ・少しずつではあるがコロナでの制限も緩和されている部分もあるので地域資源等も活用していきたい。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4　年　11　月　　25　日
５．多機能性ある柔軟な支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	佐々木・後藤・道下・鵜木・松江・日下部 本間・鎌田（裕）・鎌田（秀）・沢居 佐藤（朋）・榎本・高島・成田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1 人	2 人	11 人	人	14 人

前回の改善計画
気付きや変化があった時にはその情報を『見える化』し共有を図っていく。 依然作成した『気づきノート』の活用も改めて検討…。

前回の改善計画に対する取組み結果
気付きや変化があった時にはその都度柔軟な支援は出来たが、その場その場の対応となってしまった印象…。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	2	4	8		14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	2	10	2		14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	1	12	1		14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	1	9	4		14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
コロナの状況を考慮し通いから訪問への切替えなど、サービスの変更を行うことで柔軟に対応する事が出来た。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
記録の内容が希薄となっている事もあり変化や気づきを共有出来ずに終わってしまう事があった。 本人の声にならない声を明確に解釈しているのか不安になり出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・コロナ禍でも活用できる地域資源は活用していく ・既存の地域資源（移動販売・訪問理美容等…）も引き続き関係が切れないように活用を継続していく。 ・口頭だけではなく記録にしっかりと入力していく習慣をつける。（日常の動きだけではなく変化や気づき、想い等…。）	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4　年　11　月　　25　日
６．連携・協働	ﾒﾝﾊﾞｰ	佐々木・後藤・道下・鵜木・松江・日下部 本間・鎌田（裕）・鎌田（秀）・沢居 佐藤（朋）・榎本・高島・成田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	3 人	10 人	1 人	人	14 人

前回の改善計画
コロナの影響により今後もどのように対応していくかは現段階では難しいが、コロナ禍でも感染対策を徹底し出来る事を少しずつでも行っていきたい。
前回の改善計画に対する取組み結果
利用者参加は難しかったが職員のみ町内行事に参加をし、町内との関係が切れないよう努めていた。 又、感染者数が少ない時には担当者会議なども行い外部サービスとの連携も行っていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	2	8	1	3	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	1		12	14
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	3	2	8	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？				14	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
外部とは CM、医療は看護師が中心となり連携を取ることで介護職員への伝達、周知は出来ている。 地域行事はコロナ禍の為自粛しているイベントも多いが夏祭りは開催されていた為参加（職員のみ）出来た。 又、事業所内での行事は併設されている高齢者住宅と共同にて開催、実施する事が出来た。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
町内との関わりは数年間あまり持てていなく、町内への発信も出来ていないのが現状…。 担当者会議等担当の職員の参加が出来ていない。 地域住民はほとんど訪れてはいない。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・コロナ禍で自粛していた運営推進会議の開催など、まずは自事業所から発信し改めて地域との関係を再構築していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4　年　11　月　　25　日
７．運営	ﾒﾝﾊﾞｰ	佐々木・後藤・道下・鵜木・松江・日下部 本間・鎌田（裕）・鎌田（秀）・沢居 佐藤（朋）・榎本・高島・成田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1 人	10 人	3 人	人	14 人

前回の改善計画
利用者様、ご家族の意見や想いに対し応えられるよう、頂いた内容は職員間で共有していく 感染状況を踏まえつつ会議の開催やイベント参加をしていきたい。

前回の改善計画に対する取組み結果
共有は出来ていた部分もあるが改善が必要なこともあった。どのように共有していくのか（口頭だけではなく、記録や紙ベースで保存するなど…）検討が必要。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	1	10	3		14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？		13	1		14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	6	4	3	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	1	1	7	5	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
職員会議を開催し職員間の意見は伝え合っている。 苦情が報告された時には報告書にて情報共有を行い再発防止に努めている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域への発信は出来ていなく、協働した取組みは行えていない。コロナ禍による影響が大きい…。 地域の意見が聞けていない。 地域との関わりがあまりないのでよくわからない。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・『６.連携・協働』同様地域との関わりが数年希薄となっているので事業所として発信し地域との関係を構築していく。 ・意見・苦情についてはすぐに事業所間で周知し早期対応を行っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4　年　11　月　　25　日
８．質を向上するための取組み	ﾒﾝﾊﾞｰ	佐々木・後藤・道下・鵜木・松江・日下部 本間・鎌田（裕）・鎌田（秀）・沢居 佐藤（朋）・榎本・高島・成田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	4 人	8 人	2 人	人	14 人

前回の改善計画
現状行っている事業所内研修をより充実させ職員の参加率も上げれるように勤務調整など行っていきたい。参加が難しい職員についても資料を配布し全職員が目を通せる仕組みづくりをしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
事業所研修の他、講師として外部の事業者の勉強会を実施できた。前回の改善計画通り資料についても全職員が目を通せる様にファイルに綴じる他参加できない職員には資料を配布し周知を行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	3	9	1	1	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	2	5	6	14
③	地域連絡会に参加していますか			3	11	14
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	1	6	6	1	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
毎月の定例会議にて事業所内研修（勉強会）を実施している。不参加の職員にも資料を配布する事で全職員に周知している。 介護技術講習に参加している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
事業所研修ではスキルアップという面より再確認という内容の研修が多い。 スキルアップという観点の研修は事業所内研修では難しい…。 勤務の都合上参加できない時があった。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・前年度よりもケア会議での勉強会や外部の業者様を講師としての研修を実施できていたので、引き続きコロナ禍でも出来る範囲で質の向上に努めていきたい。 ・ケア会議開催時には勉強会も実施していく。 ・アクシデントの報告、対策後の検証を事故防止対策委員会メンバーが中心となり、行っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4　年　11　月　　25　日
９．人権・プライバシー	ﾒﾝﾊﾞｰ	佐々木・後藤・道下・鵜木・松江・日下部 本間・鎌田（裕）・鎌田（秀）・沢居 佐藤（朋）・榎本・高島・成田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1 人	9 人	2 人	1 人	13 人

前回の改善計画
管理者、リーダーを中心に改めて言葉遣いや隠語、イニシャルの活用など声掛けをしつつ定着していきたい。 身体拘束、虐待についても定期的な勉強会などを継続していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
イニシャルなど名前に関しては定着してきているが、日頃の会話の中では改めなければいけない部分は多々有り。 身体拘束、虐待に関しての勉強会は今期はまだ行えていない。左記の他、日頃の言葉遣いや対応も改めて見直す必要が感じられる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	11	3			14
②	虐待は行われていない	9	5			14
③	プライバシーが守られている	3	10	1		14
④	必要な方に成年後見制度を活用している		2	5	7	14
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	9	1		14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

毎年事業所内研修を行い、身体拘束、虐待防止に努めている。
申し送りや引継ぎでは利用者名をイニシャルで伝えておりプライバシーは守れている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

職員自身が何気なく使っている言葉遣いなど利用者様にとって不快な思いをされており苦情になってしまう事があった。
コロナ感染対策により居室で過ごしてもらう時間が多くなってしまった。
排泄時のプライバシーの配慮が出来ていない。（トイレの声掛けや環境面等…）
パソコンの画面が開いたままになっている（記録や個人情報が見える時がある）スクリーンセーバーの設定

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）

・現状での対応が拘束や虐待になっていないか（言葉遣いやプライバシーの配慮も含め…）定期的に評価をしていき改善に繋げていきたい。
・定期的な勉強会の開催。
・個人情報管理を再度見直し、情報がしっかり守られているか確認をする。（サービス向上委員会、環境係が中心となって実施。）